

見てみよう 令和元年度 各務原市の 決算状況

令和元年度
「見てみよう 各務原市の決算状況」
各務原市役所 財政課
〒504-8555 各務原市那加桜町 1-69
TEL | 058-383-1132
FAX | 058-383-6365
E-mail | zaisei1@city.kakamigahara.gifu.jp

はじめに

各務原市では、市民の皆さんに、市政運営に関する情報をより広く知っていただきたいと考えています。

決算については、決算書や決算認定資料を作成し公開していますが、これらは数字や文章だけで書かれており、慣れていない方にとっては少し読みにくいものとなっています。そこで、多くの皆さんに市の決算状況を分かりやすく知っていただきたいという思いから、本冊子を作成しています。

市の事業は、子どもたちの教育や道路の整備、ごみの収集処理など、皆さんの生活に密着しています。

この冊子を通して、市民の皆さんに、市の事業や財政状況に対するご理解を深めていただきたいと思います。

もくじ

- | | |
|--------------------|--------|
| 1 決算ってなに？ | … 1ページ |
| 2 どれくらいのお金を扱っているの？ | … 2ページ |
| 3 どんなお金が入ってきたの？ | … 3ページ |
| 4 どんなことにお金を使ったの？ | … 4ページ |
| 5 市の仕事をもっと詳しく知りたい | … 6ページ |
| 6 貯金や借金はどれくらいあるの？ | …10ページ |
| 7 「ふるさと納税」の使い道は？ | …12ページ |

(注1) 本冊子では、総務省が定めた全国一律のルールにより算出した、普通会計決算に基づいた決算額を記載しています。

(注2) 本冊子中の説明文は、分かりやすさを重視する観点から表現しています。

1

決算ってなに？

「決算」とは、この1年間で、どれだけのお金が各務原市に入ってきて、どれだけのお金を使ったかをまとめたものです。

市に入ってくるお金や使うお金は、あらかじめ、どんなお金がいくら入り、どんなことにいくら使うのかという計画を立てています。これを「予算」といいます。この計画（予算）どおりにきちんと使われたのかをまとめ（決算）、市民の代表者が集まる議会で確認します。

■予算から決算までの流れ

～前年度の3月ごろ

予算編成

1年間にどれくらいのお金が入ってくるかを予測して、お金の使い道の計画（予算）を立て、議会在議決します。



4月～3月

予算執行

計画（予算）に沿って市民サービスを提供していきます。

※次年度の5月までに
全ての支払いを完了



次年度の6月～9月

決算

使ったお金をまとめ、行った市民サービスの結果と合わせて公表し、議会在認定します。

メモ

1年間の計画（予算）を立ててお金を使っていますが、途中で計画を変更することがあります。台風など自然災害の発生や経済情勢の変化など、予測できなかった事態に対応する必要が出たときなどです。この変更を「補正予算」といい、必要なお金を追加したり、不要となったお金を減らしたりします。補正予算は通常、6月・9月・12月・3月の年4回の市議会定例会のタイミングで行っています。

2

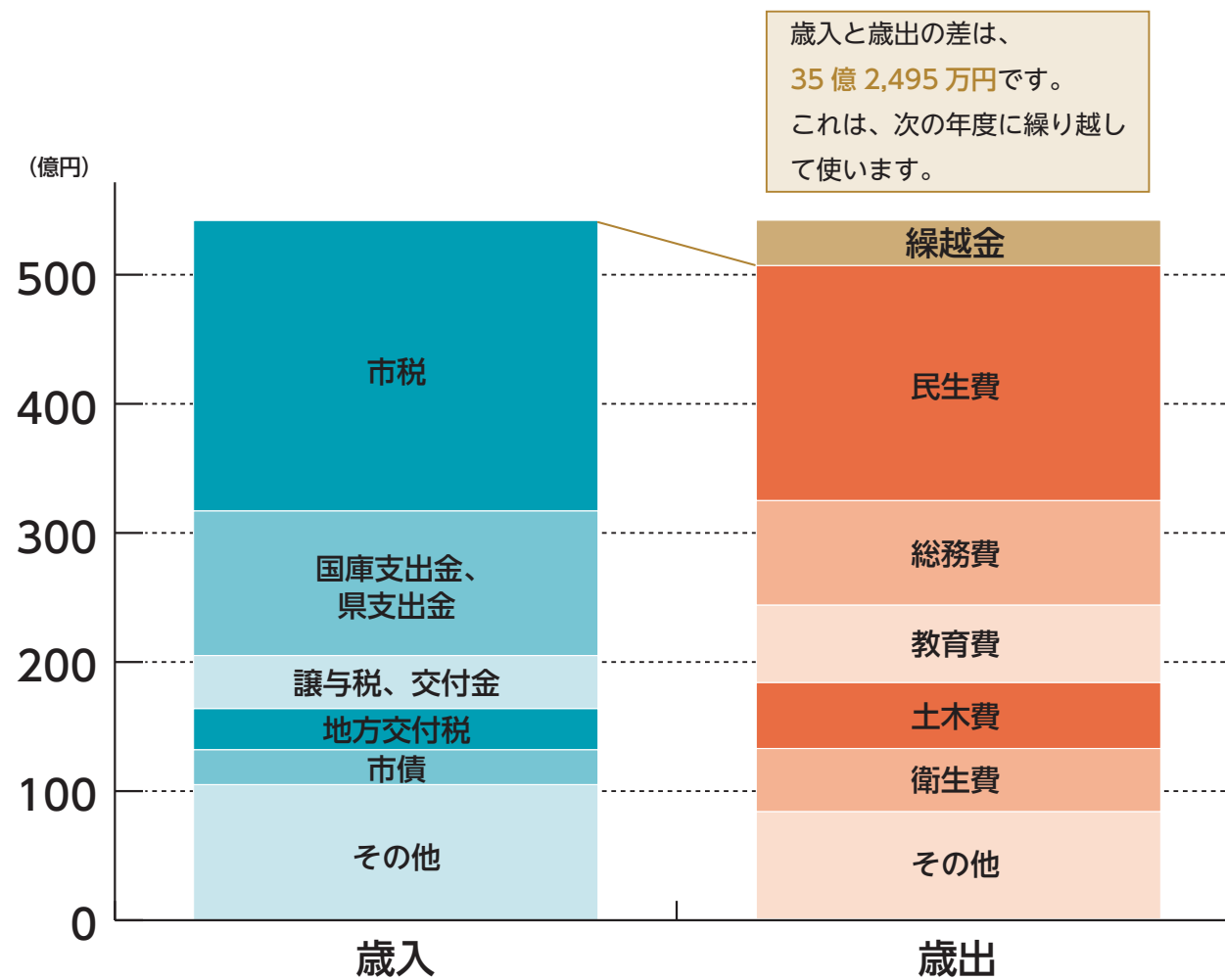
どれくらいのお金を扱っているの？

令和元年度の決算では、

入ったお金（歳入）は、**541 億 6,378 万円**

使ったお金（歳出）は、**506 億 3,883 万円** です。

余ったお金の 35 億 2,495 万円は、次の年度に使っていきます（「繰越金」といいます）。



メモ

繰越金は、次の年度の行政サービスに活用していきます。

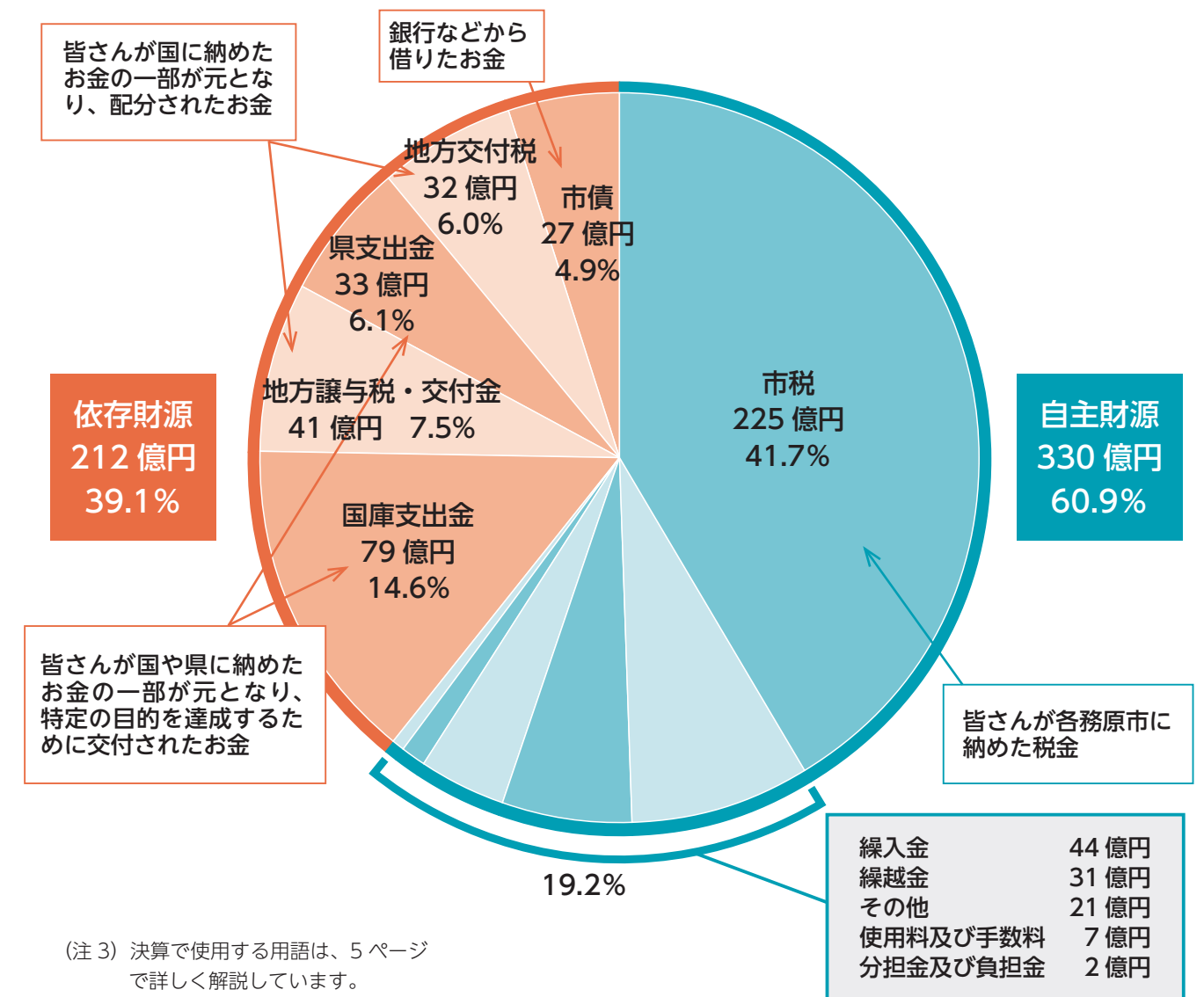
歳入・歳出の額は年度によって増減しますが、ここ5年間は、歳入は480億円～540億円、歳出は450億円～510億円ほどの規模となっています。

3

どんなお金が入ってきたの？

令和元年度に各務原市に入ってきたお金（歳入）を見てみましょう。

市内に住んでいる人が納める個人市民税、市内に事務所などがある法人が納める法人市民税、市内に土地や家などを持っている人が納める固定資産税といった税金のほか、国や県から入ってくるお金、施設の利用料、銀行などからの借金、貯金を取り崩したお金などがあります。



(注3) 決算で使用する用語は、5 ページで詳しく解説しています。

メモ

市が自主的に集められる「自主財源」は全体の約6割、それ以外の「依存財源」は、国・県から入ってくるお金や、銀行などから借りたお金です。自主財源の大部分は市民の皆さんに納めていただいた税金で、市の重要な財源となっています。

</

令和元年度に実施した主な事業について、目的別に紹介します。

総務費

新庁舎建設事業【やさしさ】

災害対策の拠点となり、ユニバーサルデザインや環境にも配慮した新庁舎建設に着手しました。

5億2,240万円



移住定住総合窓口運営事業【活力】

イオンモール各務原に開設している「かかみがはらオープンクラス」において、市内への移住を検討する方々に向けて積極的な情報発信を行いました。

785万円



女性応援セミナー開催事業【誇り】

働く場面における女性の活躍を推進するため、職場復帰や再就職、仕事と家庭の両立に関する不安の解消を目的としたセミナーやキャリア相談を実施しました。

35万円



民生費

成年後見利用促進事業【やさしさ】

認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分なため、日常生活が困難な状況にある方へ成年後見制度の利用や活用のための支援を行いました。

1,205万円



ぎふ木育ひろば設置事業【やさしさ】

使用されなくなったあさひ子ども館の検診室の改修工事等を実施し、ぎふ木育ひろばとしてリニューアルを行いました。

494万円



衛生費

生活習慣病予防事業【やさしさ】

生涯にわたる健康増進の自主的な取り組みを促すため、健康相談や親子で参加できる「親子のスポーツテスト事業」を実施しました。また、各種検診及びヤング健診の実施により、疾病予防や早期発見に努めました。

1億3,481万円



クリーンセンター基幹的設備改良事業【誇り】

クリーンセンター（し尿処理施設）の機能向上と長寿命化を図るため、基幹的設備の改良工事（平成30年度から令和2年度）を実施しました。

14億1,509万円



労働費

生涯現役促進地域連携事業【活力】

市内企業の人手不足の改善と、高齢者が年齢に関わりなく活躍し続けられる生涯現役社会の実現を目指し、人材バンクの設立、企業訪問・見学会等を開催しました。

2,000万円



伊木の森再整備事業【活力】

勤労者の余暇施設として、一定の目的を果たした伊木の森を、身近な自然と親しめる憩いの場へと再整備しました。

2億1,931万円



農林水産業費

各務原にんじん啓発事業【活力】

市の特産品である「各務原にんじん」をPRするため、啓発チラシやにんじんレシピ本等を作成し市民に配布したほか、にんじんの商品開発を行いました。

73万円



元気な農業産地構造改革支援事業【活力】

就農者を支援するため、栽培施設の建設に対して補助を行いました。

2,672万円



(注4) 【】内は、本市のまちづくりにおいて大切にしている3つの基本理念を示しています。

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館利用促進事業 【活力】 595 万円

海外の航空宇宙博物館との連携の推進や 2 周年記念イベントを開催するなど、博物館の魅力向上に努めました。



名鉄新那加駅バリアフリー化施設改善事業 【活力】 1 億 4,453 万円

鉄道事業者が市内鉄道駅のバリアフリー化を円滑に行うため、補助を行いました。



那加福祉センター勤労会館駐車場活用事業 【活力】 160 万円

那加福祉センター勤労会館駐車場の活用を検討するため、事業者を対象としたサウンディングやエリアの賑わいの創出などを検証する社会実験を実施しました。



鵜沼東町道路改良事業 【活力】 1 億 6,095 万円

鵜沼地区のショッピングセンターの出店に合わせ、周辺交通の円滑化と歩行者の安全を確保するため、道路と橋梁の拡幅をするとともに歩道設置を行いました。



防災備蓄倉庫整備事業 【やさしさ】 1,761 万円

巨大地震発生時に備えて必要な物資を蓄えるため、防災備蓄倉庫建設の設計等を行ったほか、二次避難所にコンテナ式防災備蓄倉庫を 3 基整備しました。



耐震性貯水槽整備事業 【やさしさ】 935 万円

巨大地震発生時に迅速確実に消火活動等を行うことができるよう、那加浜見町及び成清町地内に耐震性貯水槽を整備しました。



コミュニティ・スクール事業 【誇り】 148 万円

地域・学校・家庭が連携し、義務教育 9 年間を見通した子どもの成長支援を目的に、学校運営協議会を設置しました。那加・桜丘・鵜沼・蘇原中学校区で新たに設置したほか、残り 2 中学校区における次年度の設置に向けた準備を行いました。



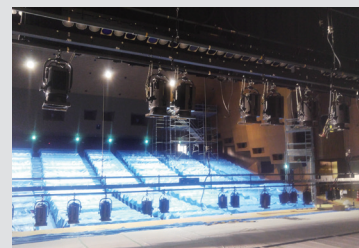
古墳シンポジウム事業 【誇り】 11 万円

坊の塚古墳の 5 年間の発掘調査を総括するとともに、これからの古墳のあり方を考えました。市内外から 300 人が参加し、講演やパネルディスカッションを行いました。



市民会館空調・舞台照明設備改修事業 【誇り】 2 億 4,559 万円

市民会館の利用環境向上のため、空調設備や舞台照明設備の改修工事を平成 30 年度から 2 カ年かけて実施しました。



地域で活躍できる人材育成と郷土愛の醸成を目的に、子ども達の夢を育むことができるよう、地域と連携し各分野において様々な事業を行いました。



福祉体験学習事業

福祉体験学習事業 36 万円

各務原ものづくり見学事業 179 万円

基礎学力定着事業 908 万円

レッツ・トライ・イングリッシュ事業 65 万円

ふるさと歴史発見事業 8 万円



ふるさと歴史発見事業

子ども起業家育成事業 21 万円



子ども起業家育成事業

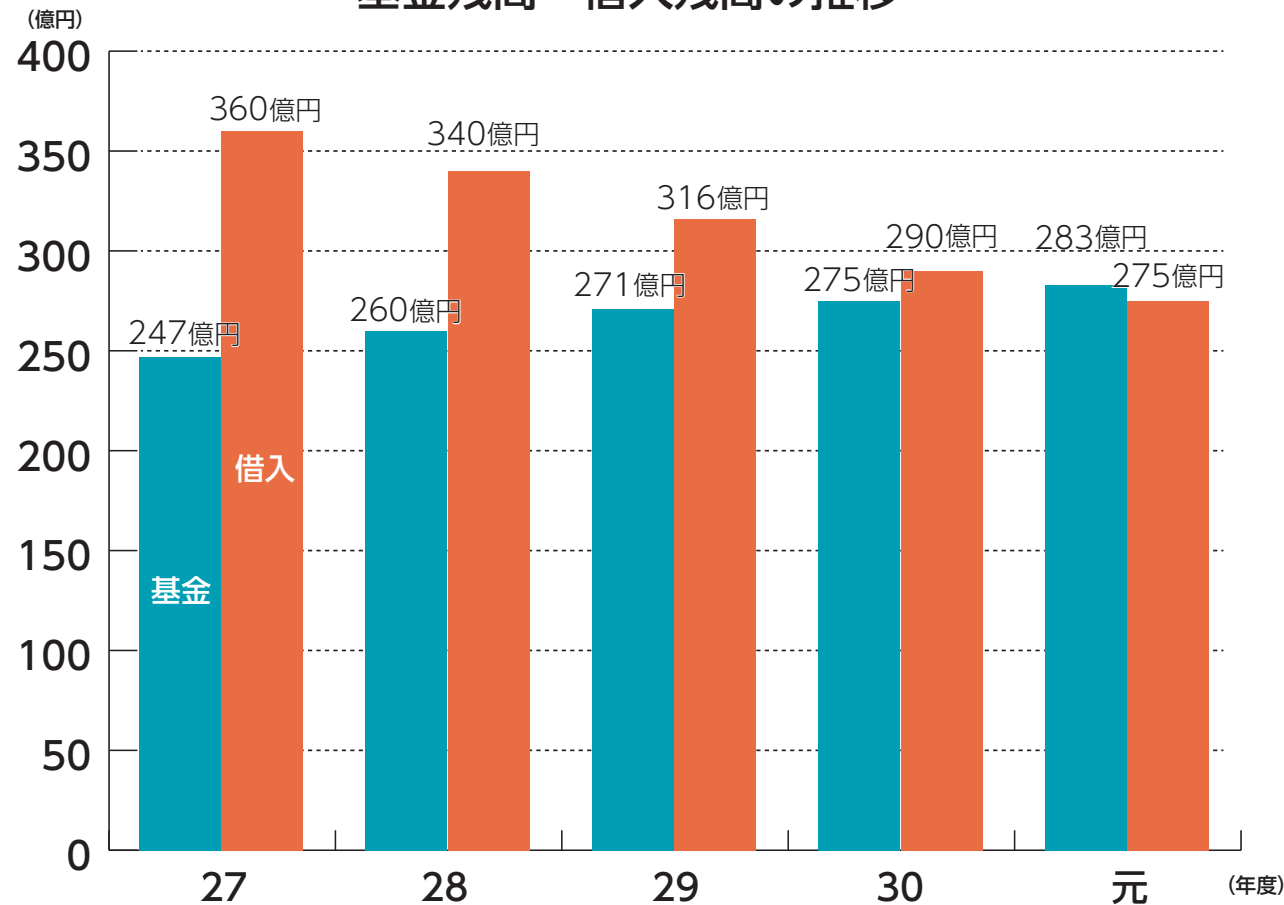
6₁

貯金や借金はどれくらいあるの？

貯金のことを、市では「基金」と呼んで管理しています。
令和元年度末の基金残高は、**283 億 4,057 万円** です。
平成 30 年度末と比べ **8 億 5,277 万円 増加** しました。

また、令和元年度末の借入残高は、**274 億 6,956 万円** です。
平成 30 年度末と比べ **14 億 8,421 万円 減少** しました。

基金残高・借入残高の推移



メモ

基金は、年度間のお金の過不足を調整するもの、借金の返済に使うもの、庁舎の整備に使うものなど、それぞれの目的ごとに分類し、管理しています。借金にも種類がありますが、市では将来の財政負担を軽くするために、その返済に国の支援がある有利なものに限りお金を借りています。とはいえ、借金は借金ですから、計画的に借入・返済をすることが大切です。

6₂

貯金があるのになんで借金をするの？

例えば学校を建てると、その後、何十年と使っていくことになるので、建てたときの世代の人たちだけでこのお金を負担するのは不公平です。分割払いにすることで、将来の世代の人たちにも公平に負担してもらいます。

また、建物や道路の整備には多額の費用がかかるため、一度に支払ってしまうと、その年度は他の事業ができなくなってしまうのです。

市民負担のイメージ



建設時の市民だけでは
大きな負担…



長い間かけて使うことができるものは、
長い間かけてみんなで負担！

メモ

市が行う借金は、基本的に建物や道路などを整備するためのものです。
毎月の生活費のために借りるのではなく、住宅ローンのように、何年も使っていくような大きな買い物
の時に借金をしています。

令和元年度中にいただいた「ふるさと納税」6億8,454万円を、
さまざまな事業に活用しました。

応援メニュー	寄附金額	応援メニュー	寄附金額
1 教育・文化・スポーツに関すること	9,340万円	6 子ども福祉に関すること	1億1,310万円
2 環境に関すること	8,510万円	7 防災・防犯に関すること	1,666万円
3 保健・医療に関すること	4,454万円	8 基盤整備に関すること	915万円
4 高齢者福祉に関すること	3,071万円	9 産業振興に関すること	2,426万円
5 障がい児者福祉に関すること	4,260万円	10 各務原市まると応援	2億2,502万円

1 蘇原中学校給食調理室環境整備事業

事業費 5,405 万円

安定した給食提供と調理員の安全確保のため、給食調理室に空調設備の設置工事を行いました。



2 一般廃棄物収集運搬事業

事業費 4 億 1,626 万円

家庭ごみ（可燃ごみ及び不燃ごみ）の収集運搬を行い、適正なごみ処理に努めました。



3 予防接種事業

事業費 3 億 4,214 万円

予防接種法に基づき定期予防接種を実施し、感染症の発生及び蔓延予防に努めました。



4 川島会館運営事業

事業費 2,261 万円

高齢者の福祉増進や教養の向上などを目的として、健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、入浴施設やレクリエーション活動の場の提供を行いました。



5 タクシー・ガソリン券発給事業

事業費 3,831 万円

歩行困難などにより日常生活に著しい制限を受ける在宅の重度障がい者の方に対し、社会活動の範囲を広げるため、タクシー料金や自動車燃料費の一部を助成しました。



6 公立保育所維持補修事業

事業費 313 万円

市内の公立保育所 5 園について、建物や遊具などの経常的な施設修繕を実施し、保育施設の安全管理に努めました。



7 消防車両更新事業

事業費 9,635 万円

災害時において迅速確実に出動・稼働できるよう、消防ポンプ自動車を 2 台更新しました。



8 寄附による道路整備事業

事業費 1,606 万円

土地所有者からの道路用地の寄附と合わせて拡幅整備を行うことで、緊急車両の通行を可能にするとともに、地域の生活環境を改善しました。



9 ビジネスマッチング事業

事業費 340 万円

市内企業・団体の展示会出展を支援し、参加企業が技術や製品のPR、商談や情報収集を行いました。



10 まちづくり活動助成事業

事業費 237 万円

市民が知恵を出し合い、力を合わせて地域の課題を解決する「まちづくり活動」の促進を目的に、団体が実施する事業に助成を行いました。

